

海外派遣留学生
留学報告書

学部学科:	国際学部国際学科		学年:	2年
留学先:	国:	アメリカ	大学/機関:	シラキユース大学
期間:	2023年 8月 20日 ~ 2024年 3月 25日			
	長期		計	7ヶ月

[1] 参加した語学コースの時間数/科目名(受講科目・複数可)

・授業時間数: Oral: 180, Textual: 180, Accuracy: 144

・科目名: Oral, Textual, Accuracy

時間	月	火	水	木	金	土	日
8:45~10:15	○	○	○	○	○	Free	Free
10:30~12:00	○	○	○	○	○	Free	Free
13:15~14:45	○	○	○	○	Free	Free	Free

[2] 授業内容について教えてください。

(クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等)

クラスの人数は秋学期はレベル3で15人、春学期はレベル4で8人ほどでした。

クラスに日本人は2人で、そのほかの生徒は中国、台湾、韓国、カザフスタン、アゼルバイジャン、モロッコ、ウクライナ、エクアドル、ブラジルから来ていました。他クラスにはクウェート、イラン、サウジアラビアなどから来た生徒もあり、国籍多様な語学学校でした。中国から来た生徒が多く、レベル3の時は15人中4人。レベル4の時は8人中2人が中国人でした。同年代の生徒もいましたが、20代後半から30代後半の生徒も多いので、年齢も多様でした。

担当の先生はとても親身になって英語学習を支えてくれました。例えば、休み時間や授業後でも時間を割いて、分かるまで説明をしてくれました。

授業方法は先生によって異なるので多少混乱した部分がありましたが、ゲームをしたり、例文を紙に書いて共有しあったり、ペアやグループでディスカッションをしたり、短いプレゼンをしたりと、ただ座っているだけではなく、アクティブに活動する時間がとても多かったです。

教材は、語学学校から指定された教科書を主に使用していましたが、必要に応じて先生がほかの教材を印刷して配布してくれたり、映画を観たりと教科書だけにとらわれない授業だったと思います。

海外派遣留学生
留学報告書

[3] 課外活動・研修旅行・余暇の過ごし方について教えてください。

私はk-popのダンスサークルに参加していました。ダンスサークルには大きく分けてグループ練習、ワークショップ、ウィークリーミーティング 3つの活動があったので、週に2回から4回集まりがありました。グループ練習では毎週2回同じメンバーと集まって、ショーケースに向けて練習するので、現地の大学生との距離を縮めるいい機会になりました。

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)サークルの活動の際によくスポーツ施設にあるスタジオに行っていました。

[5] 宿舎(寮やホームステイ)での生活について教えてください。

部屋: 1部屋 2人で使用

様子: ルームメイトは同じく東海大学の派遣留学プログラムでシラキュースに来ていた日本人でした。部屋が広かったため、よく人が集まっていました。寮には週に2日スーパーに連れて行ってくれるシャトルバスがあり、とても助かりました。

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

- 楽しかったこと: 普段の授業が一番楽しかったです。休日に出かけたり、たまにイベントに参加したりしたこともとても記憶に残っていますが、何気ないクラスでの会話が一番印象に残っています。国籍も年齢も多様なクラスメイトだったので、今までは全く知らなかった文化や考え方を教えてくれました。30代のクラスメイトも多かったので、時には、もっと自信を持っていいんだよとお母さんのように慰めてくれました。授業がつらいときもありましたが、クラスメイトに助けてもらった部分がとても大きかったです。自分では感じられなかった英語面や人間面での成長も、先生やクラスメイトが成長したよと言ってくれてとてもうれしかったです。
- 苦労したこと: 英語よりも人間関係に一番苦労したのではないかと思います。最終的にはかけがえのないクラスメイトになりましたが、最初は、年齢もとても離れているし、積極的に発言する人ばかりで自分はほんとにこのクラスで大丈夫なのかと自信を失うこともありました。振る舞いや発言も日本人とは異なるので、慣れるまでは少しストレスを感じることもありました。また、語学学校や寮での狭いコミュニティを中心に生活していたため、人間関係の窮屈さを感じることもありました。でもその分人間としても成長できたと思うので、日本に帰国した今となってはいい経験だったと感じます。

留学報告書

[7] 留学の成果について教えてください

- 1) 語学力の向上: 毎日少しずつ成長したと思います。自分ではあまり劇的に成長したと感じる場面は少なかったですが、例えば、アメリカ入国の際の空港で英語が聞き取れず、とても緊張しながら飲み物を買ったり検査場を通ったりしていましたが、帰国の時は特に意識しなくても英語聞き取れるようになっており、空港の職員の方ともきちんとコミュニケーションが取れるようになっていました。日常生活で語学力の向上を感じる機会はあまりなかったですが、帰国した今になって留学生生活を振り返ると、授業も自然と聞き取れるようになっていたり、お店での注文も店員さんに聞き返されることなくできるようになっていたり、成長できていたんだと感じます。
- 2) 専門知識の向上: すでに大学院を卒業しているクラスメイトも多く、いろいろな専門知識を持っていたので授魚を通してたくさんの知識を得ることができました。教科書もただ英語を学ぶだけでなく、英語を学びながら世界で起きている様々なことについて勉強する内容だったので、知識の幅が広がったと思います。
- 3) 自己成長など: 私は内向的な性格で、留学前はお店で注文をすることさえも苦手でしたが、留学を通して英語でも注文できるようになったので、日本語で注文することにはためらいがなくなりました。プレゼンテーションもとても苦手でしたが、留学期間中に何度も英語でプレゼンテーションをしたので、少し自信が持てるようになりました。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

留学は大変なことが多くて、留学前も留学中も何度もくじけそうになりましたが、帰国した今は、自分のいろいろな面での成長が感じられて、本当に挑戦してよかったと思っています。自分の人生に大きな影響をもたらす経験であることは間違いないと思うので、少しでも興味があるなら一歩踏み出してみしてほしいです！

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

項目 ※詳しく記入して下さい	金額(当時の日本円)
渡航費(旅行会社に支払った経費)	35万円
授業料以外の諸経費(教材費・課外活動・保険料等)	35万円
私生活における諸経費(食費・交通費・洗濯費等)	40万円
現地からの奨学金がある場合	0万円
お土産代や個人的な買い物	20万円
その他(旅行)	20万円
留学に関する費用の総額	150万円

海外派遣留学生 留学報告書



海外派遣留学生
留学報告書

